

# 6月号

School Aid Japan Cambodia

スクール・エイド・ジャパン・カンボジア

# Dream通信

2009. 6. No.15



## 「夢追う子どもたちの家」の新しい職員と 誕生日会について



補習授業の様子を観察するソピアリー先生



補習中の子どもたち。とても真剣です。



子どもたちのテスト結果を打ちこむメーンさん

今回のドリーム通信では、「夢追う子どもたちの家」に新しく来た2名の職員の紹介と、新しいイベント「誕生日会」についてお伝えします。

まず最初に紹介するのが、ソピアリー先生です。4月から園に来ました。園に来る前は小学校の校長先生をしていた経歴をもつベテランの先生です。

性格は優しく穏やかで、子どもたちだけでなく、保母さんや園に補習の授業に来ている先生たちからの尊敬も集めています。仕事は主に子どもたちの学習面での指導を担当してもらっています。早速補習の先生の授業を見学して、問題点を見つけて指導したり、子どもたちと学年ごとのカウンセリングを、毎週行ったりと大活躍しています。

次に紹介するのが、メーンさんです。5月から園に来ました。4月末まで働いていた事務員が退職したため、新しい事務員として園に来ました。メーンさんはここに来る前はお坊さんでしたが、園で事務員を募集していることを知って、お坊さんをやめてこの夢追う子どもたちの家にきてくれました。

メーンさんも穏やかで、とても真面目な性格です。少しシャイなところもありますが、子どもと遊んでいるところを見ると、とても子どもが好きな人だということが伝わってきます。パソコンを使って役所への提出書類の作成や、子どもたちの成績やテストのデータ集計などをお願いしています。また英語が堪能なため、英語の通訳や翻訳、中学生への英語の補習の先生をしています。授業はとても熱心に教えてくれるので、子どもたちからの評判はとても良いです。

この新しい2名の職員と今までのスタッフの力を合わせて、より一層、良い園にしていくため頑張っています。



みんなで手作りの誕生日ボードを作成



完成した誕生日ボードの前で記念撮影



誕生日メンバーの夢発表。皆真剣に聞きます



誕生日プレゼントを貰って嬉しそうでした

次にお伝えするのは、園での新しいイベント。誕生日会です。先月5月から始まりました。「夢追う子どもたちの家」の誕生日会は、その月に誕生日がある子どもたちを、みんなでお祝いするというイベントでもあります。その月の誕生日の子どもたちにとっては、自分の夢をみんなの前で発表し、再確認するイベントでもあります。

誕生日以外の子どもたちが、ハッピーバースデーを元気いっぱい歌い終えたら、主役の誕生日の子どもたちの出番です。みんなの前で、自分の将来の夢について発表します。みんなの前で夢の発表をするのを恥ずかしがる子もいましたが、「将来は困っている人を助けられるお医者さんになりたい」、「良い先生になってカンボジアの国を良くしたい」などと一所懸命発表しました。誕生日の子どもたちからの発表が終わると、大きな拍手が沸き起こって、うれしそうな笑顔を見せてくれました。

そのあとは普段よりちょっとだけ豪華な夕食です。誕生日の子どもには、この日だけ特別にカクテル（と言ってもジュースを三種類混ぜただけのものですが）が職員からふるまわれます。職員がプノンペンで見つけて買ってきたシェイカーで、子どもたちの前で振ります。誕生日の子は目の前でシェイカーを振られるのがちょっと恥ずかしいのか、しきりに照れていました。

5月は、初めての誕生日会がよほど楽しかったのか、何人かの子どもたちが、「誕生日の子どものために」といって前にでて歌を歌ってくれました。

誕生日の子どもたちは決意を新たに、仲間たちが心から祝ってくれる、素敵な誕生日会になりました。こういう楽しい思い出をたくさん持って、巣立っていきけるような園にこれからもしていきたいと思っています。

#### 誕生日ボード：

子どもたちの誕生日を書いた、誕生日ボードが完成しました。全て子どもたちの手作りのボードです。

小さい子たちは、お兄さんお姉さんに書いてもらった自分の名前を見て、しきりに「私の誕生日は何月！」「僕の名前ここにあるよ！」と言っていました。

食堂に設置してありますので、孤児院にお越しの際はぜひ一度ご覧ください。